

施設評価シート（一般）

118

（平成20年度事業）

施設名	備前市加子浦歴史文化館	問合先	担当課(室)	生涯学習課
			職・氏名	係長 石井啓
			電話	0 8 6 9 - 6 4 - 1 8 4 1
所在地	備前市日生町日生 8 0 1 - 4		所属長職・氏名	
建物建設費	237,898 千円	財源	国県等補助金	31,500 千円
			市債・一般財源等	206,398 千円
			建設年月	平成 9 年 10 月
			耐用年数	50 年

根拠法令等の有無	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	名称	備前市加子浦歴史文化館	
総合計画上の位置付け	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり	基本施策	03 歴史と文化の輝くまちづくり
	施策	01 文化芸術の振興	事務事業名	03 加子浦歴史文化館管理運営事業

対象	(この施設運営によりサービスを受けるのは誰か?) 市内外を問わず、小学生・中学生・高校生・大学生等、また生涯学習をしようとするひと。歴史研究者・郷土史研究者(愛好家)・文学研究者・観光客・資料寄託者・資料寄贈者。
----	---

目的	(この施設運営によってどのような状態を目指しているのか?) 一郷土に関する歴史・民俗・文芸資料の収集と保存につとめ、それらを後世に伝え、遺す。で収集した資料をもとに常設・企画展を行い、当館利用者の文化的向上と調査研究の一助となることを目的とする。
----	--

施設内容	施設内容	規模	料金体系
	鉄筋コンクリート2階建 地下1階	延べ床面積 3 0 1 . 5 8 m ²	
展示室	約 3 0 人収容	入館料 大 2 0 0 円 小 人 1 0 0 円	
資料館 木造2階建	延べ床面積 2 4 0 . 6 7 m ²		
学習室	約 4 0 人収容	使用料 1 室につき 1 時間 2 0 0 円	
蔵	延べ床面積 2 8 . 8 8 m ²		
茶室	延べ床面積 9 . 8 m ²	使用料 1 時間 5 0 0 円	

管理運営方法	<input type="radio"/> 指定管理者制度導入 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> すべて直営	(指定管理者名 又は 一部委託の内容)
--------	--	---------------------

類似施設の状況	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし <input type="checkbox"/> 本市所管 <input type="checkbox"/> 近隣市町、民間その他	(施設名及び施設の概要) 備前市歴史民俗資料館 吉永町美術館
---------	--	-----------------------------------

経費	項目	平成18年度実績		平成19年度実績		平成20年度実績		単位
	人件費	正規職員	0.8 人	4,560	0.9 人	5,277	1.0 人	5,820
	臨時職員	人		人		人		人/千円
	指定管理料							千円
	維持補修費		232		142		142	千円
	物件費		4,148		4,243		3,579	千円
	その他経費		1,396		521		495	千円
	減価償却費		3,715		3,715		3,715	千円
	合計		14,051		13,898		13,751	千円
財源	特定財源		590		602		527	千円
	一般財源		13,461		13,297		13,224	千円
指定管理者の利用料金収入								千円
	年間利用者数		3,746		3,669		3,103	人
	利用者1人当たりコスト(一般財源)		3,593		3,624		4,262	円
	受益者負担率		4.2%		4.3%		3.8%	%

稼働実績	平成20年度 (単位:日,人)													
	種別\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	開館日数	25	26	21	22	23	19	23	22	19	20	19	20	259
	施設名等	利用者数等												
	施設名等	利用者数等												
	施設名等	利用者数等												
	施設名等	利用者数等												
	施設名等	利用者数等												
	施設名等	利用者数等												
	施設名等	利用者数等												

施設受当性	社会・経済情勢の変化等により、施設のニーズが薄れていないか?	
	<input checked="" type="radio"/> 薄れていない <input type="radio"/> 薄れている	判断理由 平成20年度において休館日が2日となったが、1年後観光協会や文化財関係者などの要請により元の1日に復した事は、文化施設の必要性を市民が感じているからであろう。
	そもそも市が設置・運営すべき施設か?	
	<input checked="" type="radio"/> 設置すべきである <input type="radio"/> 必ずしも設置する必要はない	判断理由 郷土の歴史研究や文化発展のための事業を行う主体は、市であるべきで、個人や民間では無理である。
性	施設を廃止した場合の市民生活への影響は?	
	<input checked="" type="radio"/> 影響が大きい <input type="radio"/> 影響はさほどない	判断理由 施設を廃止しても直接的な影響は市民にはない。しかし当事業がずっと蓄積してきた後世に伝えるべき資料保存や、郷土の歴史・文化の優越さを発信する役割をどこへ移譲するのか。適当な移譲先はない。

施設の効果率	施設の利用状況は順調か?	
	<input type="radio"/> 順調である <input checked="" type="radio"/> 順調でない	判断理由 文化施設の利用状況は、年により変動する。ガソリンの高騰と世界的大不況によって、利用者は激減した。
	受益者負担は適正か?	
	<input checked="" type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input type="radio"/> 受益者負担は求められない	判断理由 2000円の受益者負担を値上げすれば、利用者の減少は必至である。また、値下げも考えられない。
率	類似施設との統合可能性はあるか?	
	<input checked="" type="radio"/> 統合は可能 <input type="radio"/> 統合は不可能	判断理由 理論的に統合は可能であるが、文化施設の施設を考えると従来の施設を利用するのなら、どこを残しどこを廃するかが大きな問題となり、非常に困難である。
	管理運営に係るコストを削減する余地はあるか?	
	<input type="radio"/> 削減の余地はある <input checked="" type="radio"/> 削減の余地はほとんどない	判断理由 加子浦歴史文化館の場合、コストのこれ以上の削減は不可能である。

平成21年度の状況及び管理運営の改善案	平成21年度の事業内容は、平成20年度と同様、企画展3回、文化講座4回を考えている。仕事の分化が行われず、研究・調査の時間が不足しているが、市の文化と歴史研究の発展につとめたい。
---------------------	---

施設修繕・大規模改修費用(今後5年間:平成22年度から平成26年度)					
毎年経常的に必要な修繕費	内容	金額(千円)	今後5年間に必要となる大規模改修費	内容	金額(千円)
	台風被害や漏水にそなえて	150		文芸館天井の修繕	1,000

判定	<input type="checkbox"/> 廃止・閉鎖が可能 <input type="checkbox"/> 類似施設との統合が可能 <input type="checkbox"/> 民間又は地域等への譲渡が可能 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度の導入が可能 <input type="checkbox"/> 事務等一部委託が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 現在の管理運営形態が望ましい	判定理由 文化事業は、国や地方公共団体の財政難の影響をまともに受ける運命にあり、廃止や縮小の結論になりがちだが、受益者負担や実績値ではかかっているにもかかわらず、文化事業の特性である。実績値にこだわって民間委託や指定管理を行うことは、文化事業の質的変質を招くことになる。
----	---	--